

2026 年度新専門医制度乳腺外科専門医研修カリキュラム募集要項

※毎年ご申請が必要です

以下の手順に従い作成の上、期日までに、申請を行っていただけますようご協力をお願いいたします。

1. 基幹施設の認定基準（一部抜粋。詳細は乳腺外科専門医・研修カリキュラム参照）

- 専門研修カリキュラム管理委員会を設置し、専門研修カリキュラム統括責任者を置いている。
- 専門研修指導医として日本乳癌学会認定の乳腺指導医が合計 1 人以上常勤する。（常勤とは週 32 時間以上の勤務実績と定義する。）
- NCD 施設会員として年間 100 例以上の登録による乳癌診療実績を有している。
※該当の術式は申請書参照
- 査読を伴う学術集会等（国際学会、全国区の学術集会、もしくは日本乳癌学会地方会）での乳腺診療に関する研究発表が年間 2 件以上行われている。
 - ・ 乳腺カリキュラム指導医（日本乳癌学会認定乳腺指導医/乳腺専門医）が筆頭もしくは共同演者に含まれること。
 - ・ 発表者（共同演者含む）、演題名、学術集会名、開催日を証明できる抄録などを PDF で別途提出すること。
- 査読を伴う学術雑誌への乳腺診療に関する論文が年間 1 編以上発表されている。
 - ・ 乳腺カリキュラム指導医（日本乳癌学会認定乳腺指導医/乳腺専門医）が筆頭もしくは共同演者に含まれること。
 - ・ 発表者（共著者含む）、論文名、掲載誌情報を証明できる別冊などを PDF で別途提出する。
 - ・ 商業誌不可（一般向けの商業誌。「乳がんの臨床」「癌と化学療法」など、市販されている査読を有する医学誌は可）。
 - ・ 投稿要綱から査読システムを確認できない病院誌は不可。ただし、査読システムを確認できる病院誌は可。
 - ・ 論文内容の主旨が乳腺診療に関する学術的なものであること。

2. 専門研修カリキュラム統括責任者の基準

専門研修カリキュラム統括責任者は、以下の基準を全て満たすこと。

- 日本外科学会指導医
- 日本乳癌学会指導医
- 医学博士、または、査読を伴う英語による筆頭原著論文 3 編以上を有する。

3. 連携施設の認定基準（一部抜粋。詳細は乳腺外科専門医・研修カリキュラム参照）

- 専門研修カリキュラム管理委員会と連携する委員会を施設内に設置し、専門研修カリキュラム連携施設担当者を置いている。
 - 乳腺専門医が1人以上常勤している(常勤とは週 32 時間以上の勤務実績と定義する)。
 - NCD 施設会員として年間 30 例以上の NCD 登録による乳癌診療実績を有している。
- ※ 該当の術式は申請書参照

4. 日本乳癌学会認定施設の同時申請につきまして

申請手続きの簡素化の為、基幹施設もしくは連携施設として承認された場合、希望すれば学会認定の認定施設としても認められます（2026 年 12 月に認定期間の切れる施設は対象外。来年の申請の際に希望の有無をご入力ください）。

基幹施設：My Web の申請画面にて希望の有無をご選択ください。

連携施設：「①申請書」シート「認定施設認定の希望」にて希望の有無をご入力ください。

認定施設を希望し、認められた場合、認定証は「問合せ先」に記載の方宛にお送りいたします。

- ※ 複数の基幹・連携施設の申請書を提出する場合は、My Web の申請画面での希望の有無の選択、もしくは、提出される全ての申請書、において必ず同じ内容で入力してください。（例えば希望する場合、全て「希望する」をご入力ください。）

※ **基幹施設・連携施設を申請される場合は、認定施設の申請書は不要です。**

<認定施設>

申請料：不要

認定料：2 万円

認定期間：2026 年 1 月から 2 年間

認定施設は、認定料をいただいております。お振込みにつきましては、審査合格後ご案内いたします。

【基幹・連携施設に加えて認定施設として認められるメリットにつきまして】

基幹・連携施設は、専門医機構の制度に基づく、乳腺外科専門医の育成機関です。一方、患者さんや市民、社会向けに、乳腺診療の質を施設・個人レベルで保証する目的で、日本乳癌学会専門医制度では、2024 年度より新たな制度としての認定医および認定施設を承認することになりました。また、認定施設は、しばらくの間、旧来の乳腺専門医（機構プログラム対象外の外科医、外科以外の専門領域）の育成の役割も担っていただきます。

5. 申請期間

2025 年 9 月 15 日（月） ～ 2025 年 10 月 31 日（金） 23 : 59

6. 提出書類

基幹施設

（1）基幹施設申請書

シートは①～⑧までありますので、必ず全てのシートをご確認ください。

（2）カリキュラム統括責任者要件を確認する為の添付書類

※2025 年度から継続して統括責任者となられる場合は不要。

■学位証明書

学位証明書がない場合は、乳腺診療に関する査読を伴う英語による筆頭原著論文 3 編
※外科指導医選定証の提出は不要となりました。事務局にて資格の有無を確認いたします。

（3）基幹施設要件を確認する為の添付書類

①学術集会での研究発表の抄録(2024 年 2 件以上)

②査読を伴う学術雑誌への論文 PDF(2024 年 1 件以上)

2024 年の業績が不足する場合は、参考情報として 2023 年の業績を提出してください。ただし、昨年度までの施設申請に用いたものは不可。なお、こちらは、2027 年度カリキュラム審査（2026 年申請）までの特別措置となり、それ以降は前々年の業績での申請は不可となります。

連携施設 ※申請書は基幹施設経由でご提出ください。

（1）連携施設申請書

シートは①～③までありますので、必ず全てのシートをご確認ください。

7. 注意事項

（1）留意いただきたい点は申請書の各シート内にコメント付記しています。

（2）虚偽の記載が判明した場合には、施設の認定を遡って停止となる可能性があります。

8.提出方法

申請料、認定料：なし

※認定施設の同時取得をされた場合のみ、認定施設認定料 20,000 円

- (1)連携施設は、申請書類を基幹施設にご提出ください。複数の基幹カリキュラムに所属する場合は、それぞれのカリキュラムの基幹施設にご提出ください。
- (2)基幹施設と連携施設の申請書類一式を取りまとめて基幹施設のカリキュラム統括責任者もしくはカリキュラム窓口担当者から一括で施設用 My Web より申請をしてください。詳しい申請方法については、別途「カリキュラム申請手順」をご確認ください。

施設用 My Web

http : <https://jbcs.members-web.com/facility/login>

※My Web へのログインにつきましては、施設管理番号とパスワードが必要となります。詳細は、2025 年 8 月 28 日に全正会員宛にお送りしたメール「重要【日本乳癌学会】施設用新会員システム(My Web)導入のご連絡」をご確認ください。

申請後、My Web にて申請ステータスが「申請済」になっていることをご確認ください。

9.審査結果について

認定委員会ならびに専門医制度委員会の審査および理事会による承認後、12 月中に統括責任者の方へメールにてご連絡いたします。なお、2026 年 1 月から専攻医の募集を開始する予定です。

10.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問合せください。なお、正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください。

11.チェックリスト

		提出形式	ファイル名	備考
☐	基幹施設申請書	Excel	【基幹】施設名 例：【基幹】乳癌大学附属 病院.xlsx	シートが①～ ⑧まであります
☐	連携施設申請書	Excel	【連携】数字.施設名 ※数字は基幹施設の申請書 式「④連携施設」シートの No をご利用ください 例：【連携】1.〇〇クリニック.xlsx	シートが①～ ③まであります
カリキュラム統括責任者要件を確認する為の添付書類（2025 年度と変更がない場合不要）				
☐	学位証明書	PDF	学位_統括責任者名	2025 年度 と変更がない 場合不要
☐	※学位証明証がない場合 乳腺診療に関する査読を伴 う英語による筆頭論文 3 編	PDF	論文 1_統括責任者名 論文 2_統括責任者名 論文 3_統括責任者名	2025 年度と変 更がない場合不 要。学位証明書 の提出がある場 合は、提出不要
基幹施設要件を確認する為の添付書類 規定件数以上提出の場合（乳腺診療に該当するかなど審査に不安な場合）は、ファイル名の枝番号"_1""_2" を 順に"_3""_4""_5"と付与して下さい。				
☐	学会発表の抄録	PDF	発表 1_施設名 発表 2_施設名	2024 年 2 件以上 (2024 年の業 績が不足する場 合、2023 年の 業績も提出)
☐	論文のコピー	PDF	論文_施設名	2024 年 1 件以上 (2024 年の業 績が不足する場 合、2023 年の 業績も提出)

※統括責任者の外科指導医選定証の提出は不要となりました。外科指導医資格、乳腺指導医資格、
乳腺専門医資格は事務局にて確認いたします。